

民主政治の確立（県政だより）



* ポスター昭和25-1「県政だより5月 No. 6」

* 「県政だより」は、戦後の広報広聴活動の取組の中で月毎に発行されるようになった手書き印刷のポスターです。県からのお知らせや、話題となっていることについて、親しみやすいイラストを用いて、わかりやすく伝えています。

解説

1948（昭和23）年、山口進駐米国軍政本部から、「広報活動を活発に展開するように」との要請があり、山口県では、1949（昭和24）年3月、知事公室内に弘報係が設けられました（翌年1月に広報班と改称）。これは国民に正確な情報が伝えられず、また国民の声が届かなかった戦前の反省によるもので、広報広聴活動が民主政治建設の根幹に据えられました。月刊の広報誌「県政展望」や「県政だより」（写真）が生まれ、広報車「おとずれ号」が県内の巡回を開始したのもこのときからです。後に、戦後の広報広聴活動を振り返った特集記事が「県政のしおり1954年4月号」（行政資料 50総務27）の中にあります。

「終戦という大きな犠牲の代償として私たちが勝ち得た民主政治-地方自治の確立も今や独立後三年をけみし漸くその基底もかたまり一路躍進をとげつつあります。広報が民主政治推進の第一線に在って過去五年間、ひたすらいばらの道を歩みつけ最近漸く「広報行政」と言い得るにふさわしい段階にまで到達したことは、私たちの大きなよろこびであり、誇りとするところであります。しかしわが国における広報行政がその理念および方法においてまだまだ幼稚域を脱せず今後幾多の試練と研さんにまつべきものが多いことを痛感するのであります。」

* 当館では1950（昭和25）年5月～1959（昭和34）年4月の「県政だより」を所蔵しています。これらの「県政だより」をたどることにより、民主政治確立途上にあった、当時の時代の空気を感じ取ることができます。（「県政だより」は当館のウェブサイトからダウンロードできます。）